

アナログアキュライザーの活用(5)

－DSD 録音(5)－

1. 始めに

システムに何らかの手を加えた場合、その音質を試聴して報告するとともに、TASCAM DA-3000 で録音して残すことにしています。今回、アナログアキュライザーの導入にともなう音質の記録として、新春恒例のウィーンフルニューイヤーコンサートの放送を録音しました。

2. アナログアキュライザーの DSD 録音と試聴方法

今回は、新春恒例のウィーンフルニューイヤーコンサートのライブ放送から録音してみます。下記のように DA-3000 への AACU-1000 の装着効果をみます。

ニューイヤーコンサート放送録画

DMR-UBZ1→DACU-500→Sonica DAC→AACU-1000→DA-3000

録音は、TASCAM DA-3000 にアナログ入力し、DSF 5.6MHz で録音します。TASCAM DA-3000 には、前半は ABS-7777 から、後半は GPS-777 から 44.1KHz のクロックを入力しています。

TASCAM DA-3000 の SD カードから録音済音源を fidata にコピーし、fidata から読み出して、MYTEK Brooklyn DAC+経由で再生します。

3. アナログアキュライザーの DSD 録音の試聴結果

2020 年のウィーンフルニューイヤーコンサートの情報は下記サイトにあります。

<https://www.wienerphilharmoniker.at/jp/concerts/concert-detail/event-id/10034>



指揮はアンドリス・ネルソンスで、次のようなプログラムです。今回は、ベートー

ヴェンの曲が組み入れられています。

カール・ミヒャエル・ ツィーラー

Overture to "Die Landstreicher (The Vagabonds)"

ヨーゼフ シュトラウス

Liebesgroe (Greetings of Love) Waltz, op. 56

Liechtenstein March, op. 36

ヨハン シュトラウス 2世

Blumenfest (Flower Festival) Polka. op. 111

Wo die Citronen bloeh'n (Where the Lemons Blossom), Waltz, op. 364

エドゥアルト シュトラウス

Knall und Fall (Without Delay), Fast Polka, op. 132

フランツ・フォン スッペ

Light Cavalry Overture

ヨーゼフ シュトラウス

Cupido, Polka francaise, op. 81

ヨハン シュトラウス 2世

Seid umschlungen, Millionen (Be Embraced, You Millions), Waltz, op. 443

エドゥアルト シュトラウス

Eisblume (Ice Flower), Polka mazurka, op. 55 (Arr. W. Drner)

ヨーゼフ ヘルメスベルガー2世

Gavotte

Hans Christian Lumbye

Postillon Galop, op. 16/2 (Arr. W. Drner)

ルードヴィッヒ・ファン ベートーヴェン

Twelve Contredanses, WoO 14 (Excerpts)

ヨハン シュトラウス 2世

Freuet euch des Lebns (Enjoy Life), Waltz, op.340

Tritsch-Tratsch, Fast Polka, op. 214

ヨーゼフ シュトラウス

Dynamiden, Waltz, op. 173

以上の他に、恒例のアンコール曲の美しき碧きドナウとラデツキ行進曲が演奏されました。

アナログアキュライザーを加えた DSD 録音音源を `fidata` から読み出して MYTEK Brooklyn DAC+経由で再生します。昨年は、アナログアキュライザーを加えない同様のルートで録音していますので、それと比較してみます。

昨年の録音と比べると明らかに躍動感が向上し、ライブの生々しさが味わえ、ライ

ブ放送の時のリアルさが DSD 録音音源にも記録されていることが分りました。

4. まとめ

アナログアキュライザーの効果が、ウィーンフルニューイヤーコンサートのライブ放送の DSD 録音でも確認できました。

以上